

ほんべつ 議会たより

No.105

2023年(令和5年)
5月1日発行



まってたよ！ これから楽しくすごそうね

4月3日 認定こども園ほんべつ 入園式

発行／北海道本別町議会 編集／広報広聴常任委員会 北海道中川郡本別町北2丁目4番地1 TEL 0156-22-8123
FAX 0156-22-2147

議会のホームページでは定例会の会議録や活性化の取り組みなどを公表しています。

本別町議会

検索 

4年振りに開催

ナイター議会

令和5年
第1回定例会

3/14

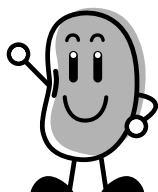
平成12年から始まったナイター議会は、コロナ禍の影響で中止が続いていましたが、3月14日に4年振り21回目の開催をすることができました。

午後6時から始まったナイター議会では、3人の議員が一般質問を行い、日中仕事などで足を運べない人も傍聴にお越しいただき、さらには議会中継でも多くの人に視聴していただきました。

今後も町民に開かれた議会を目指し、活性化の取り組みを推進していきます。

町民の声を
実行に！

★傍聴者アンケートから



今回、傍聴に来られた人にはアンケートの御協力をお願いしましたが、3割の人が初めて傍聴にお越しいただいた人でした。

また、昨年10月から始めた議会中継は9割の人が知っており、うち7割の人は生中継または録画中継を視聴されたことがありました。





議会報告会・町民懇談会 のお知らせ

各会場に議員がおじゃまします

平成31年4月を最後に開催が見送られてきた「議会報告会・町民懇談会」ですが、今年は2日間4会場と、希望する自治会や団体などにお伺いする日を1日設けて開催します（申し込み多数の場合は調整させていただきます）。

どの会場にお越しただいても構いませんので、町民の皆さんの御来場お待ちしております。

開催日時（終了時刻は予定）		開催場所及び班体制	
5月23日 (火)	午後6時30分～ 午後8時30分	仙美里地区公民館	1班
	午後7時00分～ 午後9時00分	美里別地区公民館	2班
5月24日 (水)	午後6時30分～ 午後8時30分	町体育館2階中競技室	1班
		勇足地区公民館	2班
5月26日 (金)	【自治会・団体 へ伺います】	希望される自治会や団体などに伺いますので、5月19日（金）までに議会事務局へご連絡ください。	
		1班	2班
		篠原議長、水谷議員、阿保議員 方川議員、梅村議員、加藤議員	柏崎副議長、藤田議員、石山議員 高橋議員、丑若議員、宮本議員

議会に対しては、「質問通告書の読み上げ時間を省略する対策」や「答弁にあつた再質問をすべき」、「町民の声をしっかり受け止め、実行に移して欲しい」などの貴重な御意見をいただきましたので、今後の議会運営や議員活動などの参考とさせていただきます。





第1回 定例会

事業費確定などによる
減額補正予算等を可決

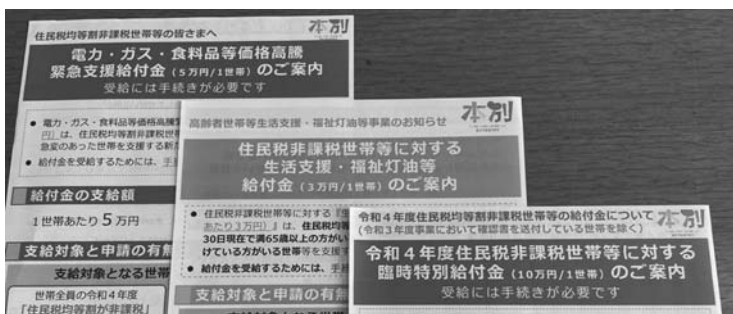
令和5年第1回定例会は3月7日に開会し、各会計補正予算などを審議しました。
審議された内容は次のとおりです。

一般会計補正

高齢者や生活困窮者などへの給付金

問 高齢者世帯や住民税非課税世帯などへの給付はプッシュ型で呼びかけてきたが、課題や取りこぼしなどの認識は。

答 複数の類似した給付金の申請時期が重なって分かりづらかったため、チラシなどを色分けして周知を図ってきました。
予算見込みよりは少ない申請件数でしたが、最大限可能な限り寄り添った中で、支給ができたと考えています。



色分けしたお知らせチラシ

一般会計補正予算に対して
反対者の討論 梅村議員
成り行きまかせの行政運営である。赤字補填を行う国保病院の経営・運営の具体的改善の道筋も見えない。

賛成者の討論 柏崎議員
執行残が主で反対者の発想には至らない。根本的な病院経営は今回の補正予算で反対することではない。

採決の結果
賛成者 8人
反対者 3人



病院事業会計補正予算に対して、
反対者の討論 梅村議員
十数年、計画どおり運営・経営できたことがなく、どう考えたら補正予算に賛成できるか理解できない。

賛成者の討論 高橋議員、藤田議員
黒字ばかりに目を向けるのではなく、町民の健康と命を守ることが大切。病院に必要な経費と認め賛成。

採決の結果
賛成者 8人
反対者 3人



病院事業会計補正

一般会計からの繰入金

問 町財政への影響は。

答 影響が出ないような形で予算編成を行うっており、地方交付税が現状程度確保される間は、対応できると考えています。

請願書

負簾地区町道の整備を求める請願書

提出日 2月27日

負簾地区町道坂部の整備を求める負簾1期成会（会長 佐藤勝男氏）より提出された請願書は、産業厚生常任委員会に付託され、閉会中の継続審査となりました。

第1回臨時会

開催日1月31日

一般会計補正

マイナンバー普及促進

国が実施しているマイナンバー付与対象となるマイナンバーカード申請期間が2月末日まで延長されたことに伴い、本町も同様に普及促進事業を延長し、申請者に対し、2,000円の商品券を交付します。

問 本町の申請率は十勝管内においても極めて低いと位置づけられているが、具体的な取り組みは。

答 今後も夜間や休日の受け付けを進めていきます。

さらに、学校や社会福祉施設への出張受け付けなどの普及促進も予定しています。

昨年12月末のマイナンバーカード申請率は60・0%でしたが、今年の3月末には76・9%まで上昇しています。

病院事業会計補正

PCR検査装置購入

この検査装置は新型コロナウイルスとインフルエンザを同時に検査することができます。

問 新型コロナウイルスの感染症法上の位置付けが5類に引き下がるが、PCR検査の必要性がなくなっていく場合も機器は有効に活用されるのか。

答 新型コロナウイルスに対しての一般的な対応が変わったとしても、感染症に対する備えとして院内での感染拡大を予防するための検査は必要で、有効に活用されます。

問 この検査装置はあくまでも入院時に限って使用するのか。

答 感染症を院内に持ち込まないよう、主に入院の際の審査判定で使用します。

条例改正

役場課設置条例の一部改正

行政課題への迅速な対応や市民の利便性向上、業務の効率化を図るため組織・機構の見直しを行い、新たに企画財政課や未来創造課、健康・こども課を設置します。

問 来庁された人へ分かりやすい説明が必要だが、その対応は。

答 窓口などに分かりやすく掲示しながら対応します。



新たに設置した未来創造課

令和4年度各会計補正予算

会計	(補正額) 補正後の額	主な内容
一般会計	(1億891万3千円) 78億2,694万6千円	出産・子育て応援交付金事業などによる増 (臨時会) 企業誘致奨励事業補助金及び基金への積立金の増額などによる増 (定例会)
特別会計	(△466万円) 10億4,052万円	事業費の確定、決算見込みによる減 (定例会)
	(681万1千円) 1億4,758万6千円	事業費の確定、決算見込みによる増 (定例会)
	(△5,248万3千円) 10億2,932万1千円	事業費の確定、決算見込みによる減 (定例会)
	(△116万2千円) 3億5,497万7千円	事業費の確定、決算見込みによる減 (定例会)
	(△98万1千円) 1億2,311万6千円	事業費の確定、決算見込みによる減 (定例会)
	(△3,351万2千円) 4億5,220万1千円	事業費の確定、決算見込みによる減 (定例会)
水道事業会計	(△596万円) 3億1,860万8千円	事業費の確定、決算見込みによる減 (定例会)
病院事業会計	(452万6千円) 13億1,699万8千円	感染症検査機器の購入による増 決算見込みによる増 (臨時会) (定例会)

※第1回臨時会(1月31日開催)含む

町政を問う!

一般質問

7人の議員から9問

暮らし

答 入居者としてしっかりお話ししながら進めてまいります
公営住宅入居者から電気料高騰による相談は



柏崎秀行議員

柏崎議員 昨年12月分から燃料費調整額の上乗せにより、電気料の高騰が物価高騰と相まって家計を苦しめている状況にあります。電気料高騰による現状と今後の町の対応について伺います。

①町が所管する公共施設全体の電気料は、令和5年度にどれだけ増額する見込みか。また施設使用料への反映は。

②町内全体の公営住宅のうち、オール電化の戸数について伺います。また、電気料高騰による入居者からの相談や、オール電化から灯油ポイラーなどへ取り替えたいなどの相談への対応は。

佐々木町長 ①公共施設全体で2,636万6千円増額する見込みです。施設使用料への反映は必要に応じて見直しをしていきたいと考えます。

②オール電化の戸数は栄町団地が48戸、向陽町団地が28戸の合計76戸です。電気料高騰により相談を1件受けました。今後の価格の動向を見極めつつ、入居者もしっかりお話をしながら対策を進めたいと考えています。



オール電化の向陽町団地

町立病院における医師の診断や経営は
答 町民の皆さんから信頼される病院経営に邁進します



梅村智秀議員

梅村議員 ①町立病院受診時、

検査もなく、他の病院を受診すると緊急入院を余儀なくされ、また、頭を打って脳腫瘍だと診断されたが、別の病院では脳出血と診断された。こうした事例が散見されるが把握されているか。さらに、カルテの開示請求を行った際、執拗に裁判をする気があるのか問うなど、心理的負担となる窓口対応を行うことは極めて問題です。

②令和4年度も約4・6億円、うち一般財源から約1・6億円の病院への支出を行いました。また、未来の子どもたちにも負担を及ぼさず、安心して支出を継続できるとの認識で良いのか伺います。



町民の声は届くのか…

佐々木町長 ①当院と他院での診断名が異なる事例はままあります。窓口対応で誤解を招いたのであれば直接謝罪を申し上げたいと思います。

②現状の交付税が担保されるのであれば、今後も対応できると考えております。病院を残していくことにおいて一定の将来負担は必要と考えております。町民の皆さんから信頼される病院経営に邁進します。

行政・教育

通学時の除雪体制の再構築を

答 通学路の除雪は通学時間までに最優先で実施します



水谷令子議員

③ 昨年10月4日、Jアラート（全国瞬時警報システム）で避難が呼び掛けられました。登下校時における緊急対応マニュアルなどを作成し、自らの命を守る育成が必要では。

水谷議員 ① 登校時の本別大橋から学校までの除雪などが不十分です。また、銀河通りの

の交差点に大きな雪山が積まれ危険な状況です。除雪体制の再構築が必要と考えます。

② 銀河通りと、大橋から学校までの通学路の街灯が暗く、子どもたちの安全確保のためにも改善が必要と考えます。

③ 現在、間引き点灯されている街灯について、所管する北海道に要請中で、点灯に向け検討していただいています。

高橋教育長

③ 町教育委員会では、文科省等が策定した手引きに基づきマニュアルを作成し、学校及び関係機関に周知して、児童生徒の安全確保を図っています。

行政

若い人の就業促進で人口減少対策を

答 人材確保と定着の取り組みなど対策を進めます



阿保静夫議員

や引越し費用の負担軽減を図る等の移住定住促進事業を開始しました。また、福祉セミナーの開催、介護従事者支援などで介護人材確保を進めています。一人でも多くの若い世代が本町に住み続けていただけるよう、人材確保と定着の取り組みや支援策を併せながら、人口減少対策を進めていきたいと考えます。

阿保議員 「第2期まち・ひと・しごと総合戦略」では、担い手確保など9つの基本政策を掲げています。移住定住促進事業としては、事業所の新規採用や移住して起業する人への家賃や引越し支援も行ってあり、これらの政策は重要と考えます。福祉の充実が若い人の就業につながるものであり、若い世代の就業に対して支援策の強化が必要と考えますが、見解を伺います。

佐々木町長

令和4年度より移住定住を促進し産業経済の維持拡大を目的として、家賃



笑顔で寄り添う安心介護

災害に備えた、備蓄など町の防災体制は

答 食料と飲料水3日分を目標に備蓄を進めています



丑若浩行議員

丑若議員 ①千島海溝で巨大地震が切迫していると想定されている中、災害に備え、避難所への経路や備蓄、電気、水、食料など町の防災体制は行き届いているのか伺います。

また、防災計画にある、避難経路を使った訓練の現状は。
②学校現場での各災害に対する取り組みと、弾道ミサイルへの対処について伺います。

佐々木町長 ①大地震発生時の対策として、最大震度7の地震が冬期間の早朝に発生したことを想定し、食料と水3日分を目標に備蓄を進めています。電気暖房についても年次計画で整備していき、避難所への経路については逐次見直しをして防災マップの更新をしていきます。

また、避難訓練は、土砂災害警戒区域の山手町、朝日町周辺を対象に今年実施予定です。

高橋教育長 ②学校現場では、学校防災計画の下、避難訓練や1日防災学校を実施しています。今後も実践的な防災教育を推進し、Jアラート発令時の訓練を行います。



まだまだ足りない備蓄品

町職員の笑顔と心身の健康は大切では

答 適正な人員配置と若手人材育成に努めます



加藤徹己議員

加藤議員 ①職員が笑顔で接してくれることで町民の安心につながります。笑顔には心身の健康が大切ですが現状と対応を伺います。

②新年度から機構改革をします。適正な職員配置をすることで職員の心身の健康保持が見込まれますが、見解は。
③労働安全委員会の活動は重要ですが、労働安全と健康保持活動の状況は。

佐々木町長 ①心身の不調により休職している職員には、定期的な面談で本人の意思を確認しながら、主治医の診断内容に従い復帰に向けて対応しています。

②職員の年齢構成がいびつな状況もあり、限られた職員の中で、適正な配置と共に、若手人材の育成に努めます。

③労働安全委員会の活動としては、委員会を開催し、職場内点検やストレスチェック等実施しています。メンタル不調者発生状況の確認など労働環境の改善に取り組み、健全行政運営のために職員の心身の健康保持に努めています。



職員の笑顔が町民の安心に

共生・協働のまちづくりの推進を

答「これまでのまちづくりの取り組みを継承していきます」



高橋利勝議員

高橋議員 政府は5月8日から新型コロナウイルス感染症対策の制限緩和を決定しました。そこで私はコロナ後のまちづくりとして、共生・協働のまちづくりを進めるべきと思っています。以下2点について伺います。

①新型コロナウイルス感染症防止対策により、人と人とのつながりが断ち切られた現状下、人と人・社会のつながりを大切にした共生のまちづくりを進めていくべきと考えますが見解を伺います。

②本町においては、コロナ禍にあっても若い人が起業化を進めて来ました。今こそ官民連携による協働のまちづくりを進めていくべきでは。

佐々木町長 ①人と人とのつながりや思いやりは、地域福祉、社会福祉の基礎となる意識し、地域福祉計画の重点課題として取り組んでいます。

②これまでの本町の総合計画やまちづくりにおいて、実践してきた町民との協働を基本とし、これまで培われた礎が築かれ継承されるものとして理解しています。



ポップコーン
世界に弾ける POPCORN

冬期の役場駐車場の維持管理と高齢者への配慮は

答「弱者に対する除雪の在り方は検討しようと思います」

梅村議員 役場庁舎は高齢者を含む来庁者、高齢者ドライバーが安全かつ安心して歩行や駐車ができるように維持管理することは当然です。積まれた雪により駐車スペースが不足している等、高齢者や障がい者等への心配りができておらず、これらに町政の姿勢が現れており改善が必要です。

町の顔である庁舎前ですらできていないものを、一般住宅、高齢者の戸口等への配慮がいくわけがないと感じました。

大型重機での除雪後、翌日に小型重機や、スタップが後追いをして人海戦術で除雪の取り組みを行っているところもあります。相手の立場に立つて物事を考えて課題解決に向かう視点を持つべきです。

佐々木町長 排雪作業が遅れていた認識はしております。大型機械での除雪であるため、



役場裏の排雪作業

各戸の間口に残る雪は各戸でお願いしています。

本別町の除雪は他の町よりも素晴らしいという言葉も頂いておりますが、弱者に対しての除雪の在り方は今後、十分に検討する必要があると思っています。



農業

**肥料高騰に対し、農業新技術、新作物の研究を
情報収集し、営対協等と共有していききたい**

阿保議員 肥料費は約1・4倍（道内約1・8倍）の高騰で、農業は営農計画の段階から苦慮しています。

町としても新技術や新作物の研究など関係機関とともに進める必要があると考えますが見解を伺います。

佐々木町長 肥料費の高騰に対して国、道の支援、さらに町の独自支援事業としては、1戸5万円や1ヘクタール1,000円、家畜1頭350円の補助などを行いました。また、新技術、新作物については関係団体、研究機関から情報収集し、営農指導対策協議会等と共有していききたいと考えています。

阿保議員 一定の独自対策は行われましたが、今後、継続的な支援が必要ではないかと思いますが考えを伺います。



定植前のアスパラ苗

佐々木町長 さらになる支援については、情報収集していきながら対応を考えます。

一般質問の通告内容や議会中継もホームページで！

議会のホームページでは「一般質問の通告内容」が閲覧できます

（通常、一般質問の3日前には通告内容が掲載されます）

今後は、「議事日程」についても事前に掲載していく予定です

パソコンやスマホからも
ご覧いただけます

定例議会開催予定

〔令和5年3月13日以降のマスク着用について〕
傍聴時のマスク着用は個人の判断に委ねます。
「着きたい人」「外したい人」どちらの選択も尊重します。

第1回定例会	令和5年3月7日開会【3月14日一般質問通告書】
第2回定例会	令和5年6月上旬開会
第3回定例会	令和5年9月上旬開会
第4回定例会	令和5年12月上旬開会

一般質問通告一覧表

質問 順序	議員名	質問 項目	目 的	令和5年 第1回定例会 議決 状況	付 録
1	船崎秀行	1	さらなる電気料高騰を見越した町の対応について		
2	高橋利勝	1	共生・協働のまちづくりを		
3	加藤健巳	1	町職員の笑顔と心身の健康について		
4	水村や子	1	選挙時の安全保障と緊急時の対応について	○	
5	日新清行	1	本町の動向について		①
6	阿保静夫	1	農業新技術、新作物の研究の推進を		
7		2	若い人の就業促進で人口減少対策を		②
8		1	町職保制度に於ける医師の報酬や療養費の負担サービスについて		
9	藤村賢秀	2	今年度の定例議会開催の管理と異動者への配慮について		③



本別町議会

検索

令和5年度

予算審査特別委員会

3月20日・22日・23日開催

審議時間 12時間52分

204の質疑

一般会計予算総額 70億3,886万7千円

9会計総予算額

歳出(支出)総額 118億8,672万2千円



石山憲司委員長

一般会計

地籍調査測量

1区域を4年間で調査を行い、初年度となる令和5年度から足寄町境の7・37km²の測量を行います。

問 7・37km²は全体進捗の何%か。また事業完了予定はいつか。

答 2・6%です。49年後の令和53年度事業完了予定です。

道営美蘭別地区営農用水事業

問 使用量の多い押帯地域と営農用水をつなぐことは可能なのか。

答 連絡管の整備は道営事業ではできませんので、町単独の予算で整備しようと考えます。

営農指導対策協議会補助金

問 補助金増額の理由は。

首都圏でのイベント(新規就農者フェア)

等に出展するための費用が増となったためです。



東京で開催した新規就農者フェア

種子生産奨励事業

問 内容は。

答 種子用バレイシヨを生産する作付け面積1ヘクタール当たり8万円を補助します。

防犯カメラ

問 どこに何台設置されるのか。

答 本別市街地に3台設置を予定しています。

防災訓練

問 内容と実施時期は。

答 土砂災害警戒区域(山手町、朝日町周辺)にお住まいの住民を対象に、避難経路の確認、簡易ヘッドの組み立てなど実際の避難所運営を想定した内容で、夏頃の開催を予定しています。



万が一に備えて防災訓練

本別高校の教育を考える会

問 新たな取り組みは。

答 地域連携協力校である帯広柏葉高校での夏期・冬期講習のバス送迎のための運行経費を補助します。

ハイヤー利用助成

新たな取り組みは。

答

令和5年度に運転免許証を返納される人は、15,000円分のハイヤー利用券に5,000円分を上乗せして交付します。

貸切バス借上補助

補助内容とバス以外の借上は対象外か。

答

自治会や福祉団体等、11人以上の団体が旅行等で貸切バスを借り上げる際に、距離や団体区分に応じて上限を定めて補助を行うもので、レンタカーを借り上げた場合も補助の対象になります。

健康ポイント

何に参加すればポイントがもらえるのか。

答

人間ドック等の健診への受診や介護予防教室、各種スポーツイベント



健康維持でポイントゲット

トの参加や体育施設の利用等にポイントが付与されます。6ポイントたまると「ゆうゆうカード」に500円分がチャージされます。

キャンプ場有料ごみ回収

観光協会補助金のうち、人件費及びごみ回収設備等の整備費用が増額しました。

問

利用方法は。

答

キャンプ場利用者は、燃えるごみ、燃やさないごみ、缶ビン類の有料ごみ袋を購入し、キャンプ

場に設置するごみステーションに捨てるごみができます。

町道補修

予算が増になった理由は。

答

今年度は道路補修に加え、町民懇談会等でも町民からお話がありました。本別市街地はマーケツト通り（道の駅から南へ行く細道）、勇足地区は国道から勇足コミセン側へ行く道路の歩道の縁石の取替補修も行つたためです。その他町道補修については、パトロール巡回をした中で順次対応していきます。



急がれる歩道縁石の補修

住宅用太陽光発電システム導入補助

蓄電池は補助対象か。

補助対象外です。今後、補助制度のあり方を町民の声も踏まえながら、検討していきたいと考えています。

答

補助対象外です。今後、補助制度のあり方を町民の声も踏まえながら、検討していきたいと考えています。

関係人口の創出

関係人口とは、観光客や移住者でもない、他の地域と行き来する人やその地域にルーツや何らかの関わりのある人等、地域と多様に関わる人々を指す言葉です。

問

取り組み内容は。

答

移住パンフレットや特産品PRチラシの作製、特産品を使った料理や町のプロモーション動画を制作して、いろいろな場面で活用し、移住定住も含めた人を呼び込む取り組みを進めていくことを考えます。

問

関係人口創出が町にもたらす波及効果について、具体的な数値は。

答

PR素材の活用やふるさと納税のリピーター対策も含め、多くの人に本町を知っていただき、移住者12人を目標に取り組みを進めていきます。

後期高齢者医療特別会計

後期高齢者保険料

保険料が令和4年度に比べ、1人当たり約7,000円増の平均68,265円の収納を見込んでいます。

問

保険料増による高齢者への影響は。また、収入未済額（滞納額）との影響は。

答

所得の増による保険料の増なので、相応の負担をいただいていると考えます。収納率は横ばいで推移しており、滞納額も減少傾向にありますので、影響は少ないと考えます。

介護サービス事業特別会計

看取り研修

問 研修を経て、看取りの実施時期は。

答

特養のあり方、方向性を決めただ上で、改築年度に向けて実施していきます。

病院事業会計

接遇研修

問

研修内容は。

答

座学と特にロールプレイングを行い、研修後もセルフチェックと相互チェックを行いながら接遇について取り組みを強化します。



実践に生かせる研修を

賛成

討論

反対

柏崎委員

コロナが収まりつつある中の物価高騰で、町を守るんだという意思がうかがえた予算である。

高橋委員

町政執行方針に基づき、コロナ禍後を見据えた適正な予算計上がされている。

阿保委員

関係人口創出事業などの新規事業により、本町の諸課題に着実に対応されていくことを望む。

藤田委員

住民生活の安全性の確保や福祉の向上を図ろうとする内容で、町民の声も反映されている。

—

般

会

計

宮本委員

コロナワクチン被害やいつ起こるかわからない災害から町民を守る姿勢が感じられない。

梅村委員

人口減、高齢化、財政難等、具体的な成果を得ることのできる予算提案とは認めることはできない。

丑若委員

時代に合った予算とは言い難く、デジタル化や行政DXを進める予算であってほしい。

賛成者 7人
反対者 3人

可決

柏崎委員

制度の改善は国へ求めるものであって、この予算を反対するものではない。

後
期
高
齢

阿保委員

保険料増は高齢者へ影響が大きく、制度の抜本的な改善を国へ求め、町独自の支援策も必要。

賛成者 9人
反対者 1人

可決

藤田委員

看取りの研修を行うということは実施に向けて前進していると判断。

サ
介
ー
ビ
ス
護

宮本委員

看取りの研修がこれからという段階であまりにも遅く、町民の声や思いに応えた予算ではない。

賛成者 7人
反対者 3人

可決

藤田委員

医師確保や接遇改善、経営改善に取り組み、病院運営を維持していくために必要な経費と判断。

水谷委員

町民の健康と命を守り、安心して日常生活を営む環境づくりを確保するための予算である。

病
院
事
業
会
計

梅村委員

接遇が問題視され課題とされていても改善する気配が見受けられず、直ちに抜本的改革が必要。

賛成者 7人
反対者 3人

可決

総務常任委員会

投票率向上に向けた取り組み

2/8

1. 現在の取り組み状況

- ・ 明るい選挙推進協議会と連携して、街頭呼びかけ
- ・ 本別高校と連携し、3年生を対象に出前講座実施
- ・ 町広報紙かけはしに掲載
- ・ 同報無線でも周知
- ・ 投票日当日は、広報車で町内を巡回
- ・ 障がいのある人には、郵便投票での対応

2. 今後の取り組み

現在、投票所は13か所あり、投票所の統廃合については、自治会と協議が必要と考えます。

今後は、自治体DXを活用したネットワークの構築が必要と考えます。



まとめ

新たな支援策として、車を使った移動期日前投票所が高齢者や障がいのある人の投票環境を向上させると考えます。

公平公正な選挙活動を推進するためには、新しいルールを作り、システムを構築する必要があります。

候補者は、有権者に分かりやすく政策を伝え、信頼を受ける行動をすることが重要だと考えます。

写真で見る議員活動

1/19

広報広聴常任委員会 広報研修



自閉症啓発ライトアップボランティア(議員会)

4/2



議会用語の解説

《会期不継続の原則》

議会は、定例会や臨時会において議決により会期（議会が活動できる期間）を定め、3月定例会や6月定例会などの各会期は独立しています。会期不継続の原則とは、会期中に議決に至らなかつた議案などは、次の会期に引き継がれることなく、審

議未了、廃案となり消滅するという原則です。

例として、9月定例会で提案された議案が会期中に議決に至らず、次の12月定例会で審議するためには再度議案の提出が必要です。

この原則の例外として、委員会へ付託された議案、請願・陳情等の審査や所管事務調査を、議会の議決によつて閉会中の継続審査・調査として行うことができます。



日本の農業や食料安全保障は、新型コロナウイルス感染症の拡大、ロシアのウクライナ侵攻や円安によって、危機的な影響を受けています。

1. 本町の農業の概要

畑作作付面積は10,271ヘクタール（令和4年）で、小麦・野菜は毎年増反していますが、てん菜・豆類は減反しています。

酪農・育成農家の戸数は減少しており、酪農は49戸（令和3年）で、経産牛4,580頭、1頭当たり9,602kgの生産乳量となっています。

2. 国や北海道、町独自の対策事業

肥料等資材高騰、生乳抑制・飼料高騰に対して、国・道をはじめ、町でも各種支援事業

を行っています。

また、イベント会場における牛乳・砂糖・豆等の地元産品の無料配布を行うなど、消費拡大にも取り組んでいます。

まとめ

今後も現況把握、情報収集を行い、国や道への要請行動が必要です。

本町の基幹産業である農業を守っていくため、本別町農業協同組合とのさらなる連携強化が求められます。



行政報告

第1回臨時会（1月31日開催）及び第1回定例会（3月7日開催）において、町長から行政報告がありました。（抜粋）

脳神経外科外来の休止について

平成25年5月より現在までの約10年間にわたり、月1回の外来枠を設けて運営してまいりましたが、患者数の減少等の諸事情により、本年3月をもって一旦終了する運びとなりました。これまで脳神経外科外来に受診されていた定期処方が必要な患者様につきましては、当院内科及び外科外来で診療を行い、急性の脳疾患対応につきましては、従来から北斗病院と画像診断の連携により必要に応じて救急搬送等を行っているところとします。今後、周辺環境の変化の際には、再開も検討いたします。

議会日誌

〔2月〕

- 3日 産業厚生常任委員会所管事務調査
- 8日 総務常任委員会所管事務調査
- 17日 十勝町村議会議長会定例会（帯広市）
- 21日 一部事務組合議会（帯広市）
- 24日 議会運営委員会
- 27日 議員協議会



- 20日 各会計予算審査特別委員会
- 22日 各会計予算審査特別委員会
- 23日 各会計予算審査特別委員会
- 24日 本会議（議案審議）、産業厚生常任委員会
- 29日 議会運営委員会
- 30日 広報広聴常任委員会

〔3月〕

- 3日 議会運営委員会
- 7日 第1回定例会開会、総務常任委員会、産業厚生常任委員会
- 9日 議会運営委員会
- 14日 本会議（一般質問）、ナイター議会
- 15日 本会議（議案審議）
- 16日 本会議（予算提案）、広報広聴常任委員会



〔4月〕

- 13日 広報広聴常任委員会
- 18日 議会運営委員会、議員協議会、産業厚生常任委員会
- 19日 広報広聴常任委員会
- 20日 産業厚生常任委員会所管事務調査
- 21日 産業厚生常任委員会現地調査
- 26日 第2回臨時会



今回は、朝日町にお住まいの石垣武巳さんにお話を伺いました。

石垣さんは本別高校を卒業後、北海道糖業本別工場に定年までお勤めになり、現在はボイラーの運転・管理や町民プールの管理人などに従事されています。

議場で体感できる緊張感や臨場感

議会傍聴にはこれまで何かお越しにいたできていま



石垣武巳さん (朝日町)

本別に若者が戻って来られるように

すが、傍聴のきっかけは、「自治会長となり町内会の仕組みや、町政のことなどを勉強しようと思ったとき、新聞に折り込みされていた議会の開催案内を見て傍聴に来た」とのことでした。最近では昨年10月から始まった議会中継を視聴していたこともあり、傍聴に来られるのも少なくなりました。したが、「実際に議場で傍聴すると、緊張感や臨場感は全く違う」と感想を述べられました。

町民生活に身近な質問を

傍聴の時は、思わず手上げて自分も質問したくなつたこともあったそうで、最近の一般質問については、「町民の生活に身近な質問などが少なく、やり取りが長くて争点と結果が分かりづらい」と感じているそうです。

また、「議会の開始時間を早めて時間を効率的に使った方がよいのでは」「3階議場までは階段で、障がいのある人や高齢者は大変」など率直なご意見をいただきました。

若い人にもっと支援を

これからのまちづくりについて伺うと「人口減少対策が重要だが町の考えが見えてこない」「今、若い人が頑張っているのでもっと支援すべき」「本別に若者が戻って来られるような施策を望みたい」と話されました。

子どもたちに安全を

1日1万歩を目指し、町

内を歩いていると気づくことも多くなつたそうで、冬の歩道の除雪が出来ていないところが散見され、子どもたちが車道を歩いている現状を気にされていました。

新たな特産品を

最後に趣味についてお聞きすると、健康維持のために水泳、ウオーキング、太極拳に汗を流しているそうで、ピザ作りのため自宅に石窯を作られたとのことでした。

「本別は豆のまちとして定着しつつあるが、他地域でも人気の肉やソーセージ、チーズなども本別の特産品として成りうるものと思います。また、最近オープンしたピザ屋さんと食材をコラボしたら面白いのではないかとアドバイスをいただいたところで、インタビューを終えました。

健康維持に努められ、様々な趣味をお持ちの石垣さんでしたが、今回はお忙しい中、たくさんのお意見や御提言をいただきました。ありがとうございました。

議会のホームページでは、過去の議会中継や議会だよりをご覧になることができます。



議会中継



議会だより

次の定例会は
6月6日 開会
13日 一般質問を
予定しています



資源を大切に—
ほんべつ議会だよりは、道産間伐材を使用しています。